

休眠預金等活用事業 事前評価報告書 点検検証フォーム＜記入例＞

事業名	xxxxxxxxx事業
資金分配団体名	xxxxxxxxx
実行団体名	xxxxxxxxx

表1：評価5原則に基づく点検・検証

実行団体の評価報告書、また必要に応じて、評価計画に基づいた測定結果をヒアリングの上、評価5原則の観点から、評価の客観性・妥当性を担保するために、点検・検証を行い、その結果を500字以内で記載して下さい。

<p>多様な関係者の参加、連携、協働</p> <p><視点> 対象となる組織・事業に係る多様な関係者の幅広い参加・連携、協働により、目指す価値や評価目的などについて、関係者間で合意形成されているか。</p> <p>(例) 対象となる事業に係る関係者として、民間のxxxx関係者やxxxx職員、xxxx分野である福祉関係者、医療関係者が特定され、事前評価のヒアリング等に協力している。目指す価値や評価目的などについて、事業に係る多様な関係者間で協議がされているといえる。その理由として、課題の分析において、関係者インタビューや意見交換が行われ、幅広い関係者の意見を確認した上で分析が実施されている。また、事業設計の分析においても、関係者等とToCの質についてワークショップが行われ、幅広い関係者の意見の反映が行われた。</p> <p>確認・記載ポイント例</p> <p>① そもそも多様な関係者の把握がされているか。</p> <p>② ①の関係者と合意形成がされているか。 「事業設計の妥当性」を判断する材料として、多様な関係者ヒアリング等を行っているか。</p> <p>③ 事業計画において、多様な関係者の参加や連携、協働などが計画されているか。</p>
<p>信頼性</p> <p><視点> 判断材料に用いている情報に偏りはないか。再現性や普遍性の高い、エビデンスが高い情報か。情報の出所は確認されているか。信頼できる方法で収集しているか。</p> <p>(例) 分析に用いた情報の出所は報告書に記載されていないが、確認されている。判断材料に用いている情報に偏りはないよう先行研究やxxx市のデータなどを用いるとともに、現場職員へのヒアリングが実施されており、各評価結果に至った道筋が明瞭であることから、評価の信頼性は高いといえる。</p> <p>確認・記載ポイント例</p> <p>① 評価報告書にまとめられた考察は、信頼できる方法で収集するなど適切な情報を使用して評価を行っているといえる内容か。</p> <p>② 評価基準や測定方法としている内容は、偏った情報ではないか。</p> <p>③ 論文など使用している情報の出所は信頼性の高い確かな情報か。</p> <p>④ 判断根拠に使用した情報と異なる情報は存在しないか。</p> <p>⑤ 使用しているデータよりエビデンスの高い情報は存在しないか。</p> <p>⑥ 判断根拠の信頼性を高める工夫はされているか。</p>
<p>透明性</p> <p><視点> 実施過程での活動状況や用いた調査の方法、成果などについて正確かつ誠意ある情報開示、説明や報告がされているか。</p> <p>(例) 調査の方法、結果などについて正確かつ誠意ある説明や報告がされており、透明性が十分に確保されていると言える。その理由として、xxxx団体内また、xxxxと丁寧な情報共有が行われていることが確認できた。</p> <p>確認・記載ポイント例：</p> <p>① 評価実施体制、実施方法、評価結果にいたったその道筋が不明瞭ではないか。</p> <p>※必要に応じて、評価計画の評価小項目ごとに、透明性を確認※</p> <p>② 評価に関与した多様な関係者に、説明や調査結果等の情報共有が適切になされているか。</p> <p>③ データ収集の方法や分析方法について、求められた際に開示できるよう整理されているか。</p>
<p>重要性</p> <p><視点> 事業を遂行する上で重要な事項は何か、また組織内外の関係者の意思決定に役立つ事項は何か、特に重要と判断している項目は明確化されているか</p> <p>(例) 本事業はxxxxの活動基盤の強化を図るとともに、新たな活動の担い手の裾野を広げること、また、xxxという生きづらさを抱えた人々が誰ひとり取り残されることなく、必要な支援を受けられるようになり、結果としてxxxの数を減らし、安全・安心な地域社会になることを目指している。その目標に関して、受益者のニーズに基づいたより詳細な活動計画が立てられることが求められる。</p> <p>確認・記載ポイント例：</p> <p>① 実行団体が活動を行う上で、何が大事だと考え、本事業で何を達成したいと考えているか。それが報告書に明確に記されているか。</p> <p>② 事業の関係者は、何を大事だと考えているか。事業の受益者にとっても重要な事項であるか。</p> <p>③ 事業の達成目標（短期アウトカム）は明確か。</p> <p>④ 評価計画では、上記のような項目で示されている重要な点が、評価できるように実際に明確化できているか。</p>
<p>比例性</p> <p><視点> 組織や事業に過度な負担をかけないように、組織や事業の規模、組織が利用可能な資源（予算・人員など）や個別の評価目的に応じて評価方法が選択されているか</p> <p>(例) 実行団体は、事業に過度な負担をかけないように、組織や事業の規模、組織が利用可能な資源（予算・人員など）や個別の評価目的に応じて評価方法が選択され、常日頃から連携している関係者等を情報源として評価を行うことが計画されており、実施体制・評価方法に問題は無いといえる。</p> <p>確認・記載ポイント例：</p> <p>① 実行団体が評価に投入できる資源と比べて、予算、人員、時間、お金をかけすぎているか。事業実施自体に影響が出ていないか。</p> <p>② 重要性和組み合わせで考え、集中すべき点に資源が配分されているか。</p> <p>③ 事業規模と比較して、評価の規模が釣り合い（大きすぎたり、小さすぎたり）でないか。</p> <p>④ 事業のアウトプット/アウトカム、指標、使用する尺度、評価デザインなどは、評価の目的、評価に活用可能な資源の程度に応じて選択されているか。</p> <p>⑤ より効率的に評価を実施するにはどうすればよいか。最低限抑えておくべき点は抑えられているか。</p>

表2：点検・検証結果の活用

<p>実行団体の評価実施に対する提案</p> <p>実行団体の中間評価実施に対して、評価計画中の測定方法の修正など、表1の結果を受けて具体的な提案を記載して下さい。</p> <p>xxxxxxx</p>
<p>実行分配団体の事業実施に対する提案</p> <p>事前評価結果を受けて、実行団体の事業計画（活動、アウトプットなど）の改善や留意点など具体的な提案を記載して下さい。</p> <p>xxxxxxx</p> <p>コロナ感染拡大の影響により、事前評価で予定していたことが実施できない、延期される場合には、</p>